

# INFORMATION



## ウトナイ湖 野生鳥獣保護センター

- 開館時間: AM9:00~PM5:00
- 閉館日: 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日~1月3日)
- 入館料: 無料
- 住所: 〒059-1365 北海道苫小牧市字植苗156-26
- TEL: (0144)58-2231 FAX: (0144)51-8600
- URL: [http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/shizen/shizenhogo/utonai/hogo\\_center.html](http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/shizen/shizenhogo/utonai/hogo_center.html)



### マナーを守って、自然や動物観察を楽しみましょう。

自然観察路を含む鳥獣保護区内は、野生鳥獣の重要な生息地として法律により保護されています。以下のマナーを守り、自然や動物観察を楽しみましょう。

- |  |   |
|--|---|
| 営巣を阻害する撮影・録音は禁止<br>Do not shoot or record in a manner that interferes with nest building | 敷地内禁煙<br>No smoking   |
| 捨てるな<br>Do not throw rubbish   | 自動車バイク等乗入れ規制区域<br>All motor vehicles prohibited area          |
| 動物を獲らないでください<br>No hunting or fishing  | モーターボート等の乗り入れ規制区域<br>Motorboats prohibited area               |
| 植物を採らないでください<br>Do not pick any wildplants   | ベットの持ち込みはご遠慮ください(駐車場内のみ可)<br>No pets                          |
| 野生動物に餌を与えないでください<br>Do not feed any wildanimals  | 器具を使用したスポーツはしないで下さい<br>Do not play any sports using equipment |
| 焚火禁止<br>No lighting fires  |   |

# ウトナイ湖 野生鳥獣保護センター

国指定鳥獣保護区/ラムサール条約湿地



# ようこそウトナイ湖へ



写真提供: 柳志方写真工房

ウトナイ湖は周囲約9km、面積275ha、平均水深0.6mの淡水の湖(海跡湖)です。

およそ6000年前、苫小牧付近の海面は3m高く、勇払原野一帯は海の一部でした。その後、長い年月を掛け、海流や河川に運ばれた砂が少しずつ蓄積し、さらに地球全体の海面が下がったため、勇払原野一帯は広い砂浜となりました。やがて砂浜には草が生えて原野となり、そこに美々川から注ぐ水が溜まりウトナイ湖となりました。

## ウトナイ湖 保全の取り組み

- ウトナイ湖サンクチュアリ……………1981年(昭和56年)  
日本野鳥の会は、ウトナイ湖を「サンクチュアリ」(野鳥の聖域)の第1号とし、自然保護や環境教育の拠点となる中心施設「ネイチャーセンター」を開設しました。
- 国指定鳥獣保護区(特別保護地区)……1982年(昭和57年)  
鳥獣保護区では野生鳥獣の捕獲を禁止するなど、鳥獣とその生息地を保護しています。
- ラムサール条約湿地……………1991年(平成3年)  
ラムサール条約は、国際的に重要な湿地とそこに生息する動植物の保全を目的として定められている条約で、ウトナイ湖は水鳥の重要な中継地として日本で4番目に登録されました。
- 東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク(ガンカモ類)……………2006年(平成18年)  
渡り鳥にとって国際的に重要な生息地をネットワークで結び、連携しあいながら生息環境の保全に取り組んでいます。



# 館内案内

本センターは2002年(平成14年)に環境省により設置され、北海道地方環境事務所と苫小牧市で共同管理しています。展示ホールでは多くの展示や映像によって、ウトナイ湖の自然を分かりやすく解説しています。また、団体利用時には専用プログラムも用意しており、職員による自然解説でウトナイ湖の自然を学ぶことができます。



渡りの時期には大型望遠鏡を使って湖で休むマガンやハクチョウを観察、冬には対岸の枝にとまるオジロワシやオオワシの姿も観察される



壁面に描かれたウトナイ湖の四季の展示を見ると、普段は気づかない生きものの生態を垣間見られる



ウトナイ湖の四季を紹介するビデオを大型スクリーンで上映(上映希望の方はお気軽にお声かけください)

1階



2階から、渡り鳥と同じ目線で見るとウトナイ湖



ウエットランドのしくみを、模型を使ってわかりやすく紹介



## 2階 市民ギャラリー

市民ギャラリーでは写真展や木工展などを開催(無料でご利用になれます)。



## 傷病鳥獣の救護活動

救護施設ではウトナイ湖および鳥獣保護区周辺で保護された傷病鳥獣の救護活動を行っています。※一般公開はしていません。

搬入された傷病鳥獣の診察・治療などを行う治療室



野生復帰に向け、傷病鳥獣が飛翔訓練などを行う屋外のリハビリケージ



毎年130~150個体もの傷病鳥獣が主に人為的要因(衝突や誤飲事故など)により保護されている。

# 活動紹介

## 野鳥観察会



### 夏鳥観察会

夏鳥が渡ってくる春は、葉が少ないので観察しやすく鳴き声も楽しめる時期。



### 水鳥観察会

春と秋、渡り鳥の中継地であるウトナイ湖は水鳥たちでにぎわう。

## 環境教育



市内小学生を対象に行っている出前講座“傷病鳥獣に学ぶこころの授業”。



市民を対象に“野生動物に学ぶ救護セミナー”を開催。



野外でクイズを解きながらウトナイ湖の自然を学ぶ。

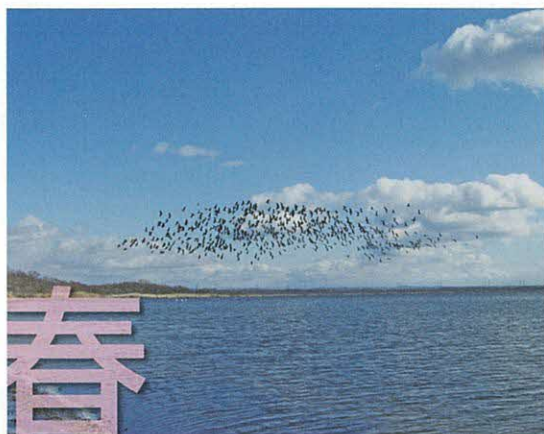
## ボランティア活動



観察会のお手伝いや、自然情報収集と提供、傷病鳥獣の救護などのボランティア活動が盛ん(ボランティアを随時募集)。

この他にも、水鳥のカウント調査、外来種駆除などの保全活動や広報紙の発行による情報発信などの活動を行っています。

# ウトナイ湖の四季と鳥たち



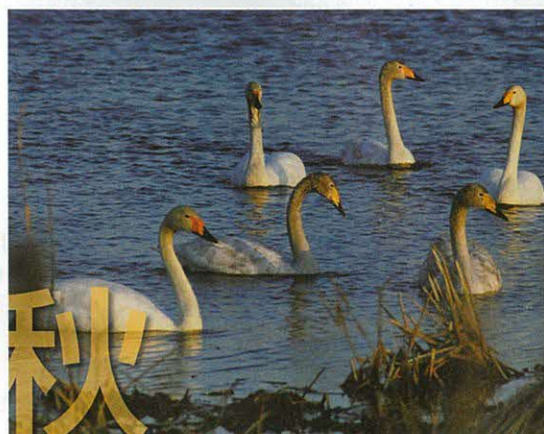
春

**湖** 面の氷がとけ始めると、本州以南で越冬していたガン類やカモ類、ハクチョウ類など多くの水鳥たちが続々と渡ってきます。4月中旬になると、繁殖のために極東ロシアに向かって飛び去ります。草原や林では、小鳥たちが子育ての準備を始めています。



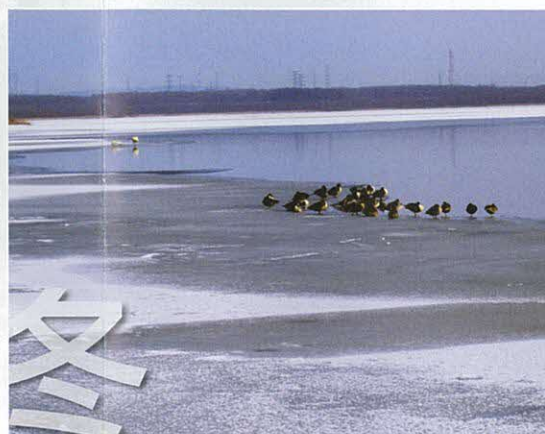
夏

**岸** 辺にはエソノコリンゴの花が咲き、小鳥たちは子育てに大忙しです。7月～8月にはホザキシモツケの花が満開になり、観察路をピンク色に染めます。湖に水鳥の姿は少なくなりますが、浅瀬ではサギ類が魚をねらっている姿を観察できます。



秋

**繁** 殖を終えた水鳥たちが幼鳥を連れて再びウトナイ湖へやってきます。まずはカモ類、次にヒシクイやマガン、続いてコハクチョウ、オオハクチョウが飛来し、湖で一時的の休息を得ます。草原では、エソリンドウの青紫色の花が咲き、林内ではシマリスなどの小動物が冬支度に忙しく走り回っています。



冬

**湖** はほぼ全面が氷に閉ざされ、わずかに空いている湖面には少数のカモ類やオオハクチョウ、オオワシやオジロワシが厳しい寒さの中越冬します。小鳥たちは多くが南下し、林内からはカラ類などの声が聞こえるのみで、静寂の世界が訪れます。



**アカゲラ** 通年  
Great spotted woodpecker  
後頭部とお腹が赤い、キョッキョツと鳴き声が林内に響いています。



**エナガ** 通年  
Long-tailed tit  
丸味のある体に、黒く細長い尾でとってもチャーミング。



**シジュウカラ** 通年  
Great tit  
黒い頭に白いほほ、胸には黒いネクタイでオシャレにキメています。



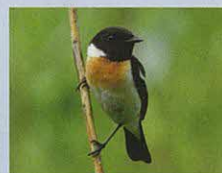
**ハシブトガラ** 通年  
Marsh tit  
黒い頭にグレーの背中、コガラとそっくりなので間違わないでね。



**アカハラ** 春・夏  
Brown-headed thrush  
赤茶色の脇、ヒヨロンヒヨロンと朝早くから鳴いています。



**センダイムシクイ** 春・夏  
Eastern crowned willow warbler  
うぐいす色の体、ジュピージュピーと聞こえたら林内を見わたして。



**ノビタキ** 春・夏  
Common stonechat  
真っ黒な帽子をかぶり、胸はオレンジ色でアクセントをきかせて。



**ヒシクイ** 春・秋  
Bean goose  
くちばしの先と足がオレンジ色、ヒシの実などを食べます。



**マガン** 春・秋  
Greater white-fronted goose  
ピンクのくちばしにオレンジ色の足、おでこが白く、成鳥のお腹はシマシマ。



**コハクチョウ** 春・秋  
Tundra swan  
真っ白な体に黄色と黒のくちばし、オオハクチョウよりも少し小柄。



**ウソ** 秋～春  
Bullfinch  
ウソみたいなホントの名前。頭、翼、尾が黒く、のどとほおが紅色。



**ツグミ** 秋～春  
Dusky thrush  
白い眉班(まゆ)がリリしくて、お腹と脇のウロコ模様が生イイ。



**オナガガモ** 秋～春  
Northern pintail  
焦げ茶色の頭にグレーの体、黒く長い尾でスタイリッシュ。



**オオハクチョウ** 秋～春  
Whooper swan  
真っ白な体に黄色と黒のくちばし。コーコーと鳴き大空を飛んでいます。



**オオワシ** 秋～春  
Steller's sea eagle  
翼をひろげると2mにもなる。成鳥は肩、尾、おでこが白く、くちばしが黄色い。



**ヒドリガモ** 冬  
Eurasian wigeon  
頭頂部が金色のモヒカンスタイル。くちばしは青灰色で先端が黒い。

# ウトナイ湖 自然観察路マップ



## 自然観察の準備

- 歩きやすく汚れてもかまわない服と靴
- 夏は汗ふきタオル、冬は防寒着
- 虫や日焼け対策の帽子
- 双眼鏡、野鳥や草花の図鑑

## どんな生き物がいるのかな

湖では羽を休めるカモ類やハクチョウ類、林内では小鳥や小動物が食べものを探して動き回っている様子を観察できます。真冬にはオオワシやオジロワシが凍った湖の上をたずんでいます。

冬毛が白い理由は雪の色と同化し目立たないようにするため。こうして捕食者から身を守っている。



キタキツネ



キタキツネの小径



エゾタヌキ

草原の観察小屋

シマアオジの小径



シマリス



トラガ



コヒョウモン



イソシギの小径

湖畔の観察小屋



イソシギのテラス

セスジイトトンボ



カナヘビ

カナヘビはひなたぼっこが大好き。

春のウトナイ湖で真っ先に咲く黄色い花。



ナニワズ



タスオ池



夏毛



冬毛

エゾユキウサギ

キツキの小径



ナガボノシロワレモコウ



オタルマップ川



マユミ



ハナムグリ



マガンのテラス



ハクチョウのデッキ



ホザキシモツケ



ツルウメドキ



ヨシ原

## ウトナイ湖

対岸の枝や氷の上にとたずむ姿が精悍。



オジロワシ

くちばしの黄色い部分が大きい方がオオハクチョウ。



オオハクチョウ



コハクチョウ



ミコアイサ

## 野生鳥獣保護センター



エゾノコリンゴ

あすまや  
階段のベンチ  
ハンノキのテラス



エゾノコリンゴ

## おすすめ観察ポイント



あすまや



階段のベンチ  
ハンノキのテラス



マガンのテラス



ハクチョウのデッキ



イソシギのテラス



湖畔の観察小屋



草原の観察小屋

- バリアフリー自然観察路
- 自然観察路
- 所要時間

